

# 国士館大学 vs 東洋大学

5月19日(日)  
11:30K.O.  
川口

開幕戦で筑波大を2-1で下した以降、勝利から見放されている国士大。前節も桐蔭大に0-1の敗戦を喫し、これで6連敗と泥沼だ。どうにも攻守の歯車がかみ合わず、最下位に低迷している。

「途中までは自分たちのペース」(細田三二監督) というように、前節も前半は相手を圧倒してボールを保持していたが、そこで相手の守備を崩しきれずに無得点に終わると、徐々にミスが多くなり後半開始5分に失点。その後は圧倒的に相手のペースになってしまい、反撃を開始する元気すらなかった。

「引き分けでは勝てない。点を取ろうと思ってバランスを崩す。循環が悪かった」(細田監督)

なかなか勝てないプレッシャーも選手たちにのしかかっている。前半戦のうちに、何とかこの状況を打開したいところだ。

開幕戦で明大に勝って以降、白星がない東洋大。前節の順大戦は16分に先制点を奪われながら前半のアドレナショナルタイムに追いついて、後半8分には逆転にも成功したが……。土壇場の43分に失点し、勝点2を失ってしまった。

「勝点1になってしまったのは残念」(古川毅監督)

しかし、同点にされてからは時間こそ短かったものの、いつ逆転されてもおかしくないようなピンチに陥った。そこでチーム全体が集中し、引き分けに持ち込んだ点は評価に値するだろう。

また、雨のピッチコンディションの中、なかなか思うようなサッカーができなかったが、その状況に応じたプレーを選択し続けたことが勝点1につながったのは間違いない。粘り強さは上位チームにも引けをとらないだけにこれを続けていけば勝点3も見えてくるはずだ。

昨年の対戦：リーグ戦での対戦はなし

国士大		東洋大	
6. 嶺岸	14. 進藤	11. 黒須	7. 馬渡
22. 今瀬	11. 児玉		12. 内田
	3. 吉田		8. 年森
21. 久保田		13. 川森	10. 桑田
	20. 松本		32. 仙頭
13. 仲島	38. 下田		5. 藤井
29. 山田	12. 加藤	9. 三田	16. 筑井

# 明治大学 vs 筑波大学

5月19日(日)  
13:50K.O.  
川口

6節で順大に快勝し、浮上のキッカケをつかんだかのように見えた明大だが、前節は早大に1-2の敗戦。

「非常に悔しい」

と、神川明彦監督も唇をかみしめた。

とはいえ、決して悪いだけの試合内容でもなかった。前半19分に先制されたものの、後半開始直後に同点弾。「追いついて、後半25分ぐらいまでは悪くなかった」(神川監督)

しかし、終盤になると疲れも手伝い、徐々にプレーに差が出始めた。

「残り20分のところで、相手のほうがいろいろな意味で強かった。単純に、もっと走れないといけないということが分かった。もう一回、足元を見つめ直して自分たちのサッカーを突き詰め、フィジカルや単純な部分もトレーニングしなければいけない」(神川監督)

時間帯によっては自分たちのサッカーができていただけに、これを90分間、集中してできるようにしたい。

11位と残留争いに巻き込まれている筑波大。前節の専大戦も後半30分によやく先制点を奪いながら、その後2失点で逆転負けを喫した。

「非常に残念。ゲームを全体的に見れば、攻守にわたっ

て一人ひとりやるべきことができていた。しかし、どの試合も先に点を取りながら追いつかれ、逆転されてしまう。それを反省して、同じことを繰り返さないように努力したい」(中山雅雄監督)

前半の立ち上がりから守備の意識を高く持ってゲームに臨み、しっかりと実行したが、それを90分間続けることができないのはなぜか。

残留争いをしていても焦る必要はないが、ここでしっかりと結果を出しておき、浮上のきっかけにしたい。

昨年の対戦：前期/明大2-2筑波大、後期/明大1-4筑波大

明大		筑波大	
2. 八塚	10. 矢田	13. 曾山	6. 片岡
12. 小池	33. 三苦		2. 田代
	6. 水野		8. 上村
1. 三浦		9. 赤崎	10. 玉城
	17. 差波		7. 葦本
3. 山越	9. 西澤		5. 車屋
31. 室屋	8. 和泉	11. 中野	12. 三丸

## JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦

# OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.8 Division1



編集：加茂郁実 印刷：関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

## 専大が首位をキープ、早大が2位に浮上!

前半戦も残り2節となった『JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦』。6節は上位陣が相次いで敗れる波乱となったが、前節はどうかののだろうか。

6節で流経大に敗れた専大。ディフェンス面のほころびが出た格好だったが、この日も前半、守備陣に故障者が出るなどアクシデントに見舞われた。そして、後半30分には先制点まで奪われたが、それでも33分、36分にゴールを奪って2-1で筑波大に逆転勝ち。苦しみながらも首位をキープした。筑波大はなかなか2勝目を挙げる事ができず、もがき苦しんでいる。

日体大は6節で初勝利を挙げた慶大と対戦。ゲームを優位に進めながらもなかなかゴールを奪うことができず、逆にセットプレーなどから2失点してしまい、1点を返したものの1-2の敗戦を喫した。ここ3試合白星がなく、順位も3位にダウン。慶大は2連勝と復調の兆しがある。

前節の好カードとなったのが明大と早大の一戦。前半19分に早大が先制点を奪えば、後半1分に明大が追いつくスリリングな展開となったが、後半のアディショナルタイムに早大がFKからゴールをたたき込み、2-1で大きな勝点3をゲット。2位に順位を上げた。明大は連勝とはならなかった。優勝争いをすする中大と、何とか上位陣との差を詰めた流経大の対戦。終始、流経大が試合を優位に進めたが、決定機を決めきることができず0-0のスコアレスドローに終わった。

### 得点ランキング

長澤 和輝 (専大)	6点
仲川 輝人 (専大)	6点
武藤 嘉紀 (慶大)	4点
長谷川竜也 (順大)	4点
前澤 甲気 (専大)	4点
三橋 隼斗 (明大)	4点
北脇 健慈 (日体大)	4点

### アシストランキング

仲川 輝人 (専大)	3アシスト
以下2アシスト12名	

6節で明大に大敗を喫した順大。一時は1-2と東洋大にリードされる場面もあったが、終盤の強さは失われていなかった。後半43分にゴールを奪い、2-2の引き分けに持ち込んだ。

開幕戦で勝利を挙げたきり、5連敗と元気がない国士大。この日もチャンスがあった前半に試合を決めきれず、後半5分に失点。そのまま後半は攻め込まれ、結局、0-1で敗れて6連敗を喫してしまった。

大混戦の様相を呈しているが、前半戦は残り2試合。ここでどのチームが調子上げてくるのか注目だ。

## JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	早大	日体大	中大	明大	流経大	順大	桐蔭大	慶大	東洋大	筑波大	国士大	勝数	敗数	同点	得失点差	勝点
1	専大	後半戦	5月26日	5月18日	後半戦	2●3	2○1	6○2	6○1	3○1	2○1	2○1	6 0 1	23	10	13	18	
2	早大	後半戦	5月18日	後半戦	2○1	3○0	0●1	1△1	2○1	1○0	1○0	5月25日	5 1 1	10	4	6	16	
3	日体大	BMWス	たつこの	1○0	後半戦	2○0	1△1	0●1	1●2	3○1	後半戦	1○0	4 1 2	9	5	4	13	
4	中大	味フィ西	後半戦	0●1	5月26日	0△0	2○0	1△1	1○0	1△1	2○0	後半戦	3 3 1	7	3	4	12	
5	明大	後半戦	1●2	後半戦	味フィ西	0△0	4○1	3○2	2△2	0●1	5月19日	2○1	3 2 2	12	9	3	11	
6	流経大	3○2	0●3	0●2	0△0	0△0	5月18日	5月26日	3○1	後半戦	1△1	後半戦	2 3 2	7	9	-2	9	
7	順大	1●2	1○0	1△1	0●2	1●4	味フィ西	後半戦	後半戦	2△2	5月25日	5○0	2 2 3	11	11	0	8	
8	桐蔭大	2●6	1△1	1○0	1△1	2●3	BMWス	後半戦	5月18日	後半戦	0●1	1○0	2 2 3	8	12	-4	8	
9	慶大	1●6	1●2	2○1	0●1	2△2	1●3	後半戦	たつこの	5月26日	後半戦	3○2	2 1 4	10	17	-7	7	
10	東洋大	1●3	0●1	1●3	1△1	1○0	後半戦	2△2	後半戦	味フィ西	5△5	5月19日	1 3 3	11	15	-4	6	
11	筑波大	1●2	0●1	後半戦	0●2	川口	1△1	味フィ西	1○0	後半戦	5△5	1●2	1 2 4	9	13	-4	5	
12	国士大	1●2	味フィ西	0●1	後半戦	1●2	後半戦	0●5	0●1	2●3	川口	2○1	1 0 6	6	15	-9	3	

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

負けたら、立ち上がるだけだ。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

RECRUIT

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

# 流通経済大学 vs 順天堂大学

5月18日(土)  
11:30K.O.  
味フィ西

中大とのゲームを0-0で終えた流経大。  
「勝ちたい試合だった」  
と試合後に中野雄二監督が話したように、決定的チャンスは流経大のほうが多かっただけに、勝点2を逃したという気持ちは大きいだろう。  
それでも、シーズン当初から守備の安定を掲げてチーム作りをしてきただけに、この試合で無失点に抑えられたのは好材料。前半戦残り2試合をこのまま乗りきることができれば、後半戦で大爆発の可能性もある。  
「ピンチはあったけれど、相手に得点を許さなかったことは評価できる」(中野監督)  
一方で7試合中、4試合が無得点に終わっているように、守備にパワーを使いすぎているため攻撃は課題。  
「もっと厚みがほしい。ダイナミックさが足りない。決定機も決められない」(中野監督)  
いかに点を取るかがポイントだ。  
前節の東洋大戦で、またも終盤で順大の粘りが出た。一度は逆転を許したが、敗戦濃厚の後半43分に値千金のゴールで同点。土壇場で勝点1を手にした。  
「最後の最後で同点に追いつけたのはよかった」  
と、吉村雅文監督も安堵の表情を浮かべたが、すぐに

厳しい表情となった。  
「セットプレー(CK)からの失点や後半の頭(8分)の失点など、サッカー選手として気をつけなければならないところを、理解しなければいけない」(吉村監督)  
失点シーンはもちろん、それ以外の部分でも開幕当初は徹底できていた守備の約束事があいまいになってきているだけに、もう一度原点に立ち返りたい。また、勝ちたいという気持ちが前面に出ているぶん、少しファウルが多いのも気がかりだ。

昨年の対戦：前期/流経大2-0順大、後期/流経大0-1順大

流経大			順大		
16. 湯澤	4. 中美		11. 原田	16. 吉永	
36. 有賀				29. 矢部	
34. 杉山				6. 岡崎	
1. 原田	14. 西谷	18. 田上	10. 井村	14. 長谷川竜	21. 大畑
	6. 富田			22. 長谷川涼	
5. 川崎				13. 宮本	
2. 田向	20. 江坂		7. 和田	2. 友澤	

# 慶應義塾大学 vs 桐蔭横浜大学

5月18日(土)  
11:30K.O.  
たつこの

開幕当初はなかなか結果が出なかった慶大。しかし、6節でようやく今シーズン初勝利を挙げると、前節も日体大を2-1で下して連勝を飾った。  
「勝ったのがよかった。特に、2連勝でよかった」  
と、須田芳正監督も笑顔。ここまで立ち上がりでの失点が多く、結果、失点が響いて勝ちきれないことが多かったが、この日は14分に先制点を奪うことに成功した。「5試合ずっと立ち上がりに失点していたが、日体大戦は自分たちが立ち上がりに(点を)取れたのが大きかった」(須田監督)  
後半9分にも追加点をゲット。ここまではいいゲーム展開だったが、その後、「守りに入ってしまったのは反省点。相手に自由にやらせてしまった」(須田監督)  
ゲームを落ち着かせることも必要だが、アグレッシブさは失わずに戦いたい。  
「不細工な試合だったが、結果として勝点3がほしいところだったので、非常に満足している」  
というのは、桐蔭大の八城修監督。国士大を相手に前半は押し込まれる展開が続き、苦しいゲームだったが、そこで守備陣が耐えることができたのが大きかった。

「ディフェンス陣がものすごく粘ってくれた。ディフェンス陣だけではなく、前の選手もハードワークをしてディフェンスの意識が高かった」(八城監督)  
2試合連続完封勝ちと、守備意識の向上が確実に勝点に結びついている。一方で、「簡単にボールを失うところは修正点。奪ったボールも簡単に失って、取って取られてというシーンが多いので、もっと自分たちの時間帯を作りたい」(八城監督)  
**警告3回：松下純土(慶大)**  
**昨年の対戦：リーグ戦での対戦はなし**

慶大			桐蔭大		
33. 溝渕	10. 武藤		8. 山崎	3. 香西	
4. 保田				6. 福島	
8. 松下				9. 大泉	
12. 福本	36. 淡野	20. 端山	10. 坪井	5. 金子	1. 島崎
	5. 増田			37. 末廣	
35. 望月				4. 古澤	
28. 飯高	29. 山田		11. 山根	20. 長谷	

# 専修大学 vs 中央大学

5月18日(土)  
13:50K.O.  
味フィ西

6節で流経大に敗れ、連勝が5でストップした専大。その影響が心配されたが、前節の筑波大戦は苦しみながらも2-1の逆転勝利を収めた。  
しかし、苦しい戦いはまだまだ続く。今節こそ出場停止選手はいないが、前節では前半のうちに本名正太郎(4年)が負傷交代。流経大に敗れた試合は本名が出場停止ただけに、ケガの影響で欠場するようだと厳しい試合になるのは避けられないだろう。また、「筑波大がうまく研究してきて、その守備に手を焼いた。3トップがうまく機能しなかった」(源平貴久監督)  
というように、相手が守備を固めてくると破壊力抜群の専大とはいえ厳しい。ここから昨年の上位チームとの対戦が続くだけに、いかに乗りきることができるか。特に、中大には昨年2敗を喫しているだけに、前半戦の大きな山場だ。  
流経大の固い守備を崩せなかった中大。0-0のスコアレスドローに終わり、優勝争いから一歩後退してしまっただけに、この首位・専大との直接対決は絶対に負けられない試合だ。  
前節はシュート数2本。  
「最後の局面をこじ開けられなかったので、やりきれな

いゲームになってしまった」(白須真介監督)  
今年の流経大は守備が徹底しているだけに、確かに攻めづらいつ部分はあっただろうが、それでももっとフィニッシュまで持ち込まないと今後も厳しいだろう。「攻撃面でのアイデアを増やしていかなければいけない。ゴール前での精度と、少ないチャンスの中でもしっかりとモノにしていく決定力をつけていきたい」(白須監督)  
この1週間でどの程度、修正できたのか。

昨年の対戦：前期/専大0-1中大、後期/専大1-2中大

専大			中大		
34. 小口	11. 前澤		17. 右高	2. 古賀	
4. 本名				3. 大和田	
	7. 長澤			4. 細見	
1. 福島	6. 河津	22. 山川	7. 砂川	25. 渋谷	1. シュミット
	8. 下田			8. 田辺	
3. 萩間				27. 小出	
2. 北爪	10. 仲川		11. 川越	6. 高瀬	

# 早稲田大学 vs 日本体育大学

5月18日(土)  
13:50K.O.  
たつこの

ついに日体大をかわし2位に上がり、専大の背中をとらえた早大。前節の明大戦も決して楽な試合展開ではなかったが、早大らしいしっかりとした守備、そこからの早い攻撃という必勝のパターンが表現できていた。「相手に支配されながらも粘り強く、かつ修正できてくる。特に、1点目はボールを奪って早い攻撃を仕かけ、ゴールに結びつけることができた」(古賀聡監督)  
決して多くのチャンスを作り出しているわけではないが、決定機を確実に決めていく強さがある。半面、「失点のシーンもそうだが、相手に広げられて早いタイミングでクロスが入ってきたときに、中で相手を察知することができていない。それが原因で決定機を作られていたので、練習で修正していきたい」(古賀監督)  
というように守備面では課題があるだけに、さらに安定した力を求めていきたい。  
開幕から好調だった日体大だが、5節で順大に引き分けると流れが悪くなり、6節で桐蔭大に敗戦、前節も慶大に敗れ連敗を喫してしまった。「前半はちょっとしたところをつかれ、後半はFKから失点。前半にいい攻撃ができなかったことが敗因」(倉又寿雄監督)

後半はやや持ち直し、雨の悪いグラウンドコンディションの中、テンポよくボールを回していた時間帯もあったが、その中でゴールを奪えなかったのが痛かった。「攻撃しているときの守備意識というのをしっかりと持っておかないと、一瞬のスキで裏をつかれたり、FKを取られてピンチに陥ることがある。その部分をしっかりと修正しなければいけない」(倉又監督)  
昨年は2敗と相性のよくない早大が相手だが、ここでしっかりと悪い流れを断ちきりたいところだ。

昨年の対戦：前期/早大2-0日体大、後期/早大3-1日体大

早大			日体大		
6. 三竿	8. 近藤洋		7. 梅村	5. 中西	
13. 金澤			9. 田中	4. 菊地	
	18. 小松			27. 山崎	
1. 松澤				1. 伊藤	
	5. 池西			6. 石井	
2. 奥山		19. 上形	11. 北脇	3. 広瀬	
12. 八角	7. 近藤貴		15. 阿部	2. 宮内	